

平成 25 年の大阪経済

－回復に向かった大阪経済－

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）は、府内の経済動向について四半期ごとに『おおさか経済の動き』としてとりまとめています。このたび、平成 25 年の年間の経済動向を『平成 25 年の大阪経済の動き』として発行しました。その概要は以下のとおりです。

25 年の大阪経済は、アベノミクスの下での円安への動きを背景とした株価上昇や景気回復期待から上向きとなった個人消費にけん引され、持ち直しが鮮明になった。それに続いて、公共投資の増加や、消費税引き上げを控えた駆け込み需要などにより内需が活性化し、景気の持ち直しが持続した。堅調な内需に対して、外需は円安による円建て輸出額の増加傾向は続いたが、実質では一進一退の動きとなった。

堅調な需要動向を受けて、就業者数は概ね増加基調で推移した。近畿地区における企業の業況判断も改善基調で推移したが、全国と比べて回復が遅れている。

【目次】

第 1 章 回復に向かった大阪経済

1. 景気は改善基調
2. 需要面では消費などの内需が堅調に推移
3. 産業活動は着実に持ち直す
4. 企業活動も回復が続く

第 2 章 平成 25 年の経済動向

第 1 節 需要は消費や住宅投資など内需は堅調に推移するも外需は伸び悩み

1. 個人消費は緩やかな改善へ
2. 住宅投資は増加の動きが強まった
3. 民間設備投資は持ち直し
4. 輸出が伸び悩み、輸入超過に
5. 観光は好材料が揃い、一貫した回復傾向に

第 2 節 産業活動は緩やかに改善

1. 生産活動は増加傾向で推移するものの年後半には一服感
2. 雇用は改善傾向
3. 物価は上昇
4. 企業倒産件数は 4 年連続の減少

第 3 章 平成 25 年の企業動向

第 1 節 年間を通して改善基調が強まった

1. 企業の業況判断は改善基調で推移
2. 営業利益と資金繰りはともに改善基調が続く
3. 雇用不足感が強まる

第 2 節 中小企業の業況は緩やかに改善

1. 出荷・売上高及び営業利益は緩やかに改善
2. 受注・販売は弱含みながら持ち直した業種が多い